

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コネクトプレイス		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 8日		～ 令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 8日		～ 令和 7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団療育のためお友達との関わりや自分の気持ちをコントロールする練習が出来る	・お友達との関わりの中でトラブルがあったり、気持ちのコントロールが難しい場合には職員が介入し、児童と振り返りながら今後の言動を一緒に考える時間を設けている	・色々なお友達との関わりをもつ機会を増やしていく ・SST等のプログラムにて「こんなときどうしたらいいのかわかるか」「自分の気持ちや相手の気持ちはどうかな」を考える機会を設ける
2	・自宅に近い環境の為生活スキルを一緒に練習することが出来る	・クッキングでは食事の楽しさを伝えるために旬の食材を使用したり、手順書を準備することで『自分で作って食べる』ことが出来るよう環境設定に配慮している ・集団活動の有無にかかわらず必要な児童には個別での課題を準備し一緒に取り組んだり、苦手なことにも挑戦する環境を設定している	・トイレ動作やお片付け、荷物の準備等自分でチェックしながら習慣化できるように支援していく
3	・毎月の目標を実践し長期的に療育を行うことで出来ることが増えていく	・目標に沿ったプログラムを行うことで少しずつ出来ることを増やしていけるよう支援している ・集団活動がない日には個別で取り組む課題や作業を準備し一人ひとりにあった療育を行っている	・年に1回大型イベントを予定しそこに向けた目標の設定を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・屋内での十分な運動スペースが確保できない	・既存の建物であり、賃貸であるためリフォーム等難しい	・事業所付近の公園に行ったり、公民館や児童館を活用し体を動かす機会を設けている ・屋内でも可能な運動に関してはジョイントマットを敷き活動できるスペースを設けている
2	・常時個別での対応が難しい場合がある	・児童3名に対し職員1名の配置であるため	・当日の児童を考慮しながら職員の配置を工夫する
3			